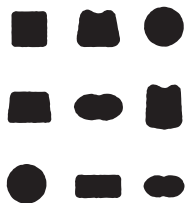


「座る」 人生に 彩りを。

02



<https://exgel.jp/jpn/lp/suwaru/>

@exgel_seating_lab @EXGELOfficial @ExgelSeatingLab

本誌内の記事・写真・イラスト等の無断掲載・転用を禁じます。すべての著作権は株式会社加地に帰属します。

© 2024 KAJI CORPORATION



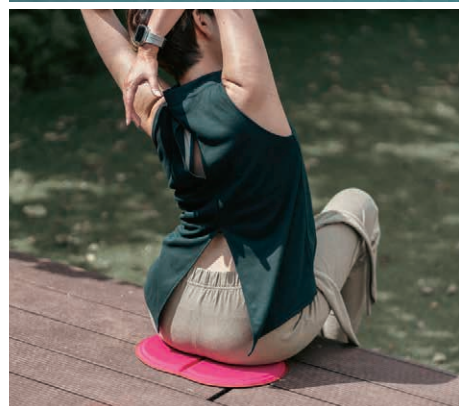
EXGEL
SEATING LAB

「座る」
人生に
彩りを。

座る × みせる

正しい姿勢は、
ときに美しく、ときに静かに、ときに鮮やかに
そのひとの届けたい思いを支える。
自分自身と、伝えたい誰かへ。「みせる」ための「座る」を探る。





座る人 04
兒玉愉依
ヨガインストラクター

ありのままの私と 語り合う 私だけの時間

時の流れに身を任せるかのよう
にゆっくり、のびのびと。朝
日を浴びながら優雅に両手を
広げるのは、ヨガインストラク
ターの兒玉さんです。ご自身
の育児中ヨガに救われたこと
をきっかけに、同じ悩みを持
つお母さんたちの力になりた
いと、親子向けの教室を開く
ようになりました。「毎日続く

育児で、だんだんと心に余裕
が無くなっていきました。そん
な時、ヨガは唯一と言えるほど
の『自分だけの時間』だったん
です。自分自身と向き合う時
間が生まれたことで心にも余
裕が生まれ、親子の時間をよ
り楽しめるようになりました。」
慌ただしい日々の中で見落と
しがちな不調や本音。ヨガの

時間は、身体と向き合い心を
見つめ直す時間になったのだ
と言います。それ以降、毎朝の
ヨガが兒玉さんの日課になり
ました。「1日の始まりにヨガを
すると、『やるぞ。』と気持ちが
切り替わるんです。」兒玉さん
にとってヨガは、自身のためだ
けに使える貴重な「息抜き」で
あると同時に、やる気と呼び

起こす「集中」でもあります。
ただひたすらに自分と向きあ
い、語りあう時間。それを邪魔
されないためには、快適さも
必要です。「余計な痛みがある
とそちらに気を取られてしま
い、本来の自分自身の身体や
心の声に気づけません。マット
が薄く坐骨の痛みを感じる時
は、お尻の下にクッションを敷

くようにしています。」座る際の
不要な痛みを取り除くことで、
なにも邪魔をされることなく、
ありのままの自分に向き合
える。自然体の自分を受け止
めてあげることで、心に余裕が
生まれる。自身と向き合い続
ける兒玉さんには育児の多忙
さを感じさせないほど、健やか
で穏やかな笑顔がありました。

座る人 05

粗忽家勘心 (そこつやかんしん)
アマチュア落語家

江戸の雰囲気 その身一つで 伝えるために

「おい与太郎。ちょっといいか？」
「なんだい、お父っつあん。」
何もないはずの舞台上で目の前
にいたのは、間の抜けた息子と、
彼を呼び寄せた父親。その姿は、
粗忽家勘心さんの声で語られてい
きます。アマチュア落語家として活
動しながら、外国語学校で日本文
化も教えている勘心さんは、落語を

通して伝えたいものがありました。
「落語は、江戸の文化や匂いがそ
のまま流れてくる。それをお客さん
に感じて欲しいんです。」映像の流
れるスクリーンも、役に合わせた衣
装すら無い中、たった一人、その声
ひとつで紡ぎ出す江戸の世界。そ
れを妨げる要素の一つとなりうるの
が、落語家の「姿勢」な

のだと言います。「自分は以前デ
スクワークをしていたので、もとも
と猫背なんです。でも語り手が目
障りな癖を持っていたり、崩れた
体勢だったりしたら、そちらに目
がいきませんか？『正しい姿勢』は、
最も余計なモノが無い状態。お客
さんにノイズとなる情報を与えな
ないように、まずはその状態

で話を始められるように心がけて
います。」一方で、お客さまを世
界に引き入れたあとは、登場人物
になりきって大きな身振り手振
りをするもあります。静と動のある
落語において、固くはないが柔ら
かすぎず、体重のかかるところで
スッと安定するクッションは、そ
の練習に最適なのだと言います。

「あまりにも壮大な夢ですが。」
と苦笑しつつ、多くの人が気軽に
落語に触れられる日をめぐりたい
と語る勘心さん。その言葉からは、
優しく謙虚な人柄と日本文化への
強い愛情が滲み出ていました。伝
統的な江戸の世界はこれからも、
勘心さんの慎ましくも洗練され
た姿勢によって語られていきます。





座る人 06
佐藤あやみ
動画クリエイター

趣味、子育て、仕事
すべて楽しむ
私でいたいから

「タイヤが地面を走っている感覚やアクセルとブレーキの踏み心地。ハンドルの感触に、運転中の目線……。車によって、全然違うんです！」パッと花が咲いたような笑顔で、きらきらと目を輝かせながら語るのは、動画クリエイターの佐藤さん。美容・ファッションだけではなく、現在中心となっているの

が、車にまつわるコンテンツです。車を好きになったきっかけは、ご家族のスポーツカーで体感した独特の乗り心地。以降、その虜になってしまったのだと語ります。友達と語り合い、家族と出かけ、静かに考え事をする。車に乗っている時間は佐藤さんにとって私生活であり、仕事であり、大切な日常

の一部です。そこで生まれる時間を愛する一方で、特有の疲れやすさもあったのだと語ります。「スポーツカーは比較的低重心で、お尻の部分も深め、背もたれも倒れています。そういった部分も好きな点はあるのですが、どうしても疲れを感じやすい点がネックで

ンを取り付けてみると、『こんなに変わるんだ!』というくらい身体への負担が軽減したんですよね。」ネガティブな点が解消されたこともあり、ドライブ中の映像に映る佐藤さんは、いつも自然体の笑顔です。そして、人に見られる職業だからこそ、佐藤さんは自宅でも至る所でクッションを使い、綺麗

な姿勢を保てるようにしているのだと言います。日常の中にある「座る」を少しずつ快適にすることで、趣味も、仕事も、子育ても、より楽しめる。強いプロ意識によって生まれる、心地よさを大切にしたい日々は、着飾るだけではない美しさを育み、これからも人々を魅了し続けていくのでしょう。

「販売員」ではなく 「シーティングアドバイザー」

接客の際には、お客様のライフスタイルからお伺いさせていただくことが多いです。ポップアップストアにご来店いただく方等はとくに、「座ることの悩み」に気づいていない方や、健康クッションというカテゴリ上、商品に疑いの気持ちを持たれている方もいらっしゃいます。しかし日常生活のお話を伺ったり、実際に商品に座っていただいたりすると、「合ったほうが良いかも。」と、その必要性に気づいていただけるんです。私自身、EXGELを知るまでは「座る」は当たり前すぎて意識もしていませんでした。だからこそ同じように、まずは「座る」について考えてもらうきっかけづくりになればと考えています。一方で、「綺麗な姿勢を保ちたい」等、ご自身でお悩みを抱えられて来られる方もいらっしゃいます。その際私は「まずは筋トレが良いですよ。」と勧めるんです。クッションは矯正道具ではなく、負担を軽減することで綺麗な姿勢を保ちやすく手助けするものですので、私も「お客様の『座る』をサポートする立場」として誠実でありたい。クッションを売る販売員ではなく、お客様の悩みを解決したり、「座る」をより良くするためのシーティングアドバイザーでありたいと思っています。店舗に足を運んでいただいた方が私たちとの会話を通し、より豊かな時間を過ごしていただければ幸いです。



掲載商品一覧

- 

おでかけ先でも快適に座る | **MINI PUNI** _____

03
- 

_____ | **HUG COMFY PREMIUM** _____

04
- 

どんな姿勢でも快適に座る | **Au ZABU Highest** _____

06
- 

_____ | **THE OWL 3D Highest** _____

06
- 

長時間移動でも快適に座る | **THE OWL Highest Compact** _____

07
- 

_____ | **HUG DRIVE SUPPORT PAD** _____

08
- 

_____ | **HUG DRIVE SEAT PAD** _____

08